

### 第3回松原公園周辺における歴史と文化を活かしたまちづくり懇話会

日時 令和4年8月18日(木) 14時～

場所 徴古館 2F 多目的ホール

□ 開催日時

令和4年8月18日(木) 14時00分から 16時00分

□ 開催場所

徴古館 2階多目的ホール (佐賀市松原二丁目5番22号)

□ 出席した者の氏名

#### 【委員】

座長 牛島 英人 【一般社団法人佐賀市観光協会 会長】  
甲斐 直美 【佐賀県総務部 部長】  
實松 尊徳 【佐賀県文化・観光局 局長】  
佐野 安正 【佐嘉神社 宮司】  
重松 恵梨子 【映画館 シアター・シエマ 支配人】  
白井 誠 【佐賀市 副市長】  
中尾 清一郎 【佐賀鍋島伝承遺産顕彰会 代表世話人】  
中尾 友香梨 【国立大学法人佐賀大学 全学教育機構 教授】  
鍋島 直晶 【公益財団法人鍋島報効会 理事長】

#### 【事務局】

佐賀市 市長 坂井 英隆  
地域振興部 部長 宮崎 圭子  
地域振興部 副部長 木島 慎治  
歴史・文化課 課長 小林 茂子  
歴史・文化課 副課長兼政策係長 野田 宣心  
歴史・文化課 政策係 江藤 健二

#### 1 開会

#### 2 辞令交付

#### 3 あいさつ

佐賀市長 坂井 英隆

#### 4 意見交換

(1) 今後の協議の流れについて

## ●事務局

歴史・文化課の野田と申します。よろしくお願いいたします。

資料1「今後の協議の流れ」について説明をさせていただきます。

まず第1回、昨年8月に開催いたしました。このときは松原エリアに関するイメージですとか、将来像といったことについて、意見交換をしていただきました。それから今年の3月でございますが、第2回ということで開催いたしました。このときは松原の歴史についてより理解を深めていただいたと同時に、エリアの中核であります松原公園（徴古館周辺）の整備について松原公園に求めるもの、こういった視点で整理をさせていただきました。

本日は第2回の議論を踏まえまして、この松原公園の整備について、より具体的な整備イメージをまとめていただくという回にしたいと思っております。その後、本日まとめていただく具体的な整備のイメージこれについて、今回はパース図等によりイメージを共有させていただきたいと思っております。矢印が左のほうに向かっておりますけれども、この松原公園整備のイメージを踏まえたうえで、この懇話会の目的であります松原公園周辺、松原エリアの将来像取りまとめに向けて、エリア全体の議論についても、第4回では議論したいと考えております。そして最終第5回におきましては、松原公園の短期的な整備の在り方、あるいは新馬場通り等も含むエリア全体の中長期的な在り方、こういった松原公園周辺の将来像という形で最後の取りまとめをしていただきたいと思います。思っております。

## ●牛島座長

ありがとうございました。ただ事務局から説明がありましたけれども、御意見・御質問があればお願いしたいと思います。その際、挙手でマイクを使用しての発言をお願いいたします。

特にないようですので、続きましてこれまでの懇話会を振り返りということで、事務局から説明をお願いいたします。

## (2) これまでの懇話会の振り返りについて

### ●事務局

続きまして資料2の説明をいたします。

振り返りということになりますが、第1回の懇話会松原エリアの将来像イメージということで前回も少しお示しをしておりますが改めてこういうふうな議論、意見交換、意見が出たということでまとめております。特に印象的といいますか、大事なワードについては赤字で表記をさせていただいているところでございます。下のほうになりますけれども、このエリアの将来像のキーワード的などところというところで少しまとめた図になっております。やはりこのエリア、歴史を次の世代に引き継ぐ、引き継いでいけるエリアであってほしいということ、それから、賑わいの創出も非常に大事な部分になるということ。

環境の部分で言いますと、松原川の水の流れ、水辺空間でありますとか、豊かな木々の緑そういったところも大事にしていきつつ整備を行っていくべきではないかと、将来像としてこういう項目を挙げさせていただいております。それをもちまして、下の矢印の先のほうになりますけれども、このエリア全体としては佐賀の歴史・文化を感じることができるような場所、あるいは、市民・県民皆さんの心の拠り所であるような場所、あるいは、佐賀、佐賀人そういったところのアイデンティティーの確立のために、この松原周辺が存在するということでキーワード的などころになろうかと考えているところでございます。

本日3回目につきましては、このキーワードについて具体的な議論というのは考えておりません。次回以降の話合いの中で皆さんには詰めていっていただければと思っておりますが、本日の議論におきましても、こういったキーワードを頭の片隅に置いていただき、いろんな意見をいただければと考えているところでございます。

裏面になります。松原公園整備のキーワードということで、これは前回第2回の懇話会で皆様からいただいた御意見をまとめております。松原公園につきましては、歴史は歴史として未来につながるような整備を行っていきたい。あるいは自分のふるさとそれから自分のふるさとの歴史、そういったことを人に伝える、話すことができるような場所にしたい。歴史と社会活動、経済活動などを結びつけるという視点も大事ですよねという御意見。若い人が集まり、魅力を感じる場所にしたいという御意見の反面、そういう若い人向けに、やれ仕掛けを作ったり新しいものを創るよりは、既にあるものに目を向けるという視点も大事ではないかという御意見もいただいたところです。さらに、回遊というところが着眼点になろうかというふうな意見もございました。何を持ってくると人の動きがどう変わるか、そういう議論のうえで整備することも必要である。松原神社、徴古館、そういった東西の軸だけでなく、エリア内の南北の軸の強化とか、松原川沿いの道を抜け道にしないための貫通道路との動線、南北の軸というのも考える必要があるという御意見もいただきました。松原マーケットの活用という御意見もございました。現在の形ということではなく松原マーケットあるいは県庁辺りの機能というか、そういったところも活用していければという御意見もいただきました。佐嘉神社、松原神社という神聖なもの、それからその周囲によく見受けられる出店あるいは飲食店そういったいわゆる聖と俗の同居、そういったところも視点として必要ではないかという御意見もいただいたところでございます。

簡単ですが、第2回の懇話会ではこういった御意見をいただいたところでございます。以上です。

#### ●牛島座長

この内容につきまして御質問等ありましたらお願いいたします。今回県からお見えの方は初めて参加ということで、何かあれば言っていただければと思います。

#### ●甲斐委員

懇話会の前に佐賀市から資料をいただいたり丁寧に説明いただきまして改めて、私共は県の総務部でございますので、徴古館の北側の方に県有地を持っている関係でここに居り

ますけれども、この一帯は歴史・文化のあるということと、鍋島家から寄贈いただいた大切な土地ということで、そこに重みを改めて感じたこととございます。県の方としまして、松原公園をつくっていかれる際に出来ることというのはさせていただきたいと思っております。

#### ●實松委員

文化・観光局長の實松でございます。文化・観光を所管する立場から言いますと、歴史・文化のあるエリアということで先ほど意見もありましたように、将来にわたって良いエリアになるようにしたいというのは、私たちも思うところです。そう思った時に個人的には色んなアイデアを思ったりしたけれど、ここに来る時に少し考えましたのは、立場的に県の文化・観光局長という立場で参加しておりますが、例えば私がこういうアイデアがありますと言った時に、発言したならば県として責任を持ってくれというような感じに受け止められると、簡単に発言がしにくいなと一方で思っています。私の感覚としては、ここに所有権や関わりを持っている人がやるよりも、他の方に意見を出してもらった方が、色んなアイデアが出るのかなとも思いました。この後多分、色々と話があると思いますので、個人的な意見として改めて色々と発言させていただきたいと思っております。

#### ●牛島座長

それぞれの立場があると思います。立場からのコメントと個人的なこういうふうなイメージとか感覚とか、そういったものを含めてその辺りの区別をつけていただければ、むしろそちらのほうが望ましいというふうに思っています。それが他の委員さんにとっても新しいインスピレーションではないですけど、さらに考えるということに繋がっていくと思っています。私はそういうふうに考えております。事務局はいかがでしょうか。

#### ●事務局

懇話会を始めるときに、地権者さんと言いますか、地主さんと言いますか三者いらっしゃいますけれど、その方々にどこをどう整備したら良いかというのを、市が話をしていくよりは皆さんで色んなアイデアを出していただきながら、それから地権者さんだけでなく他の委員の方についても色々な御意見をいただきながら、最終的にこうなったら良いよねというような将来像をまとめていければと思っております。色んな立場があると思いますが、自由に個人的にでも結構ですので御意見を頂いたうえで、最終的に皆さんがこうなったら良いよね、というような将来像をまとめていただきたいと思っております。

#### ●牛島座長

他に何かございませんでしょうか。無いようですので続けてまいりたいと思っております。次の議題「松原公園全体計画区域」の整備につきまして事務局から説明をお願いします。

### (3) 「松原公園全体計画区域」の整備について

#### ●事務局

それでは資料 3-1 をご覧ください。

これまでの第 1 回、第 2 回の懇話会につきましては、佐賀駅を挟みまして北側の SAGA サンライズパークからの南北軸という観点から話をしておりましたけれども、今回は視点を南側に移して話を進めていきたいと思っております。

まず航空写真の会場の場所である徴古館周辺を見ていただきたいのですが、右下の凡例にもございますけれども、赤色の点線が、第 1 期の松原公園整備エリアとなっております。こちらが平成 23 年に松原公園として開設された場所になります。次にその外側赤色の実線で示しておりますのが、今日の懇話会で議論していただく「松原公園」の全体計画区域という場所になります。さらにその外側茶色の線で囲んでいるところと、右側の茶色の矢印の線で引いている新馬場通りを含んだところが、この懇話会で最終的に取りまとめを行います「松原公園周辺」の将来像の取りまとめ区域となっております。お手元の資料をご覧くださいと、公園の南側のほうに佐賀城本丸歴史館や、博物館、美術館、図書館、公文書館といった施設が集中してございます。その周りには、歴史的に貴重な万部島であったり、武家屋敷の門であったり、そういった文化財なども点在しております。また城内、近くの柳町、そういったところへのアクセスの観点から見ましても、この松原公園というところは重要な場所と言えるのではないかと思っております。

続いて次のページ 3-2 の資料をご覧ください。これまでの懇話会から出た意見をもとに、事務局のほうでたたき台を作成した資料になります。赤色、緑色、青色、オレンジ色、茶色の矢印で示していますが、赤色が歴史を引き継ぐエリア、オレンジ色が賑わいを創出するエリア、緑色が緑などの憩いのエリア、青色が松原川の水を活かした水辺のエリア、そういった意味合いで色分けをさせていただいております。茶色の矢印は、貫通道路と松原川通り、あと神社と徴古館の動線整備という意味で線を入れているところです。この事務局のたたき台は、当然決定事項というわけではなく、委員の皆様には叩かれるためのたたき台という形でつくっておりますので、後ほど色々と御意見をいただければと思っております。あわせて資料 3-3 をご覧いただければと思いますが、正面の画面のほうにも映っておりますが、資料 3-2 で説明したエリアのイメージとなりそうな素材を集めたものがこちらの資料になります。オレンジ色の賑わいの創出というところでは、仲見世通りがあったり、その中にまんじゅう屋さんがあったり、休みの日とかそういった時にはキッチンカーや屋台が出たり、人が集まって何か買ったりして、賑わっているようなイメージの写真を幾つか載せております。左下の緑色部分の整備については、鑑賞する緑であったり、芝生広場とかくつろげる憩いの緑、いろんなものがありますので、どういった緑だったらいいなかな、そういった意見をいただければなと思っております。青色部分の水辺を活かした整備については、全国にある水辺カフェ、噴水、水と親しめる親水公園の写真などをピックアップして載せております。そして中心・核となるところが真ん中ですがけれども、歴史を引き継ぐと書いております。こちらについては過去にこの場所にあった直正公の銅像であったり、佐賀図書館の写真、銅像のある公園の写真であったり、また他県の公

文書館の写真であったり、あとは佐賀の伝統的なものである鍋島焼、鍋島小紋の写真等を載せているところです。

この配布した資料について説明は以上になりますけれども、今後の作業について簡単に説明をさせていただきます。

画面とお手元の資料 3-3 を一緒に見ながらお聞きいただければと思いますが、正面のほうには先ほどの赤、青とか、そういったものを載せていない航空写真を載せています。先ほども申し上げたとおり、今回の懇話会では赤色の実線のところを中心にお話をいただきたいと考えております。

お手元の資料 3-3 の写真には番号を①から⑳までふっております。先ほど事務局がたたき台としていろんなことを言いましたけれども、この赤枠の中で、この場所には何番の写真のような機能が必要じゃないかとか、それは違うんじゃないかとか、そういった意見をいただきながら、この場所にどういったものが必要かといったところを議論していければと考えております。

資料 3-3 の写真に載っていないものも当然あるかと思えます。その場合は、事務局のほうで文字入力して、画面に張り付けていこうと考えておりますので、いろいろと御意見をいただければと考えております。簡単ですが説明は以上になります。

#### ●牛島座長

ありがとうございました。今事務局から説明がありましたけれど、これからは松原公園全体計画区域の具体的な整備のイメージについて、スクリーンを活用しながら意見交換を進めていきたいと考えております。まず実線の範囲ということで皆さん承知していただいたと思います。事務局の方から先ほどの話には触れていなかったかもしれませんが、皆さんの中で例えばこういう場所のこういうイメージをここに持ってこられたら、というのがあれば積極的にお話をいただければと思います。ということで、何かぱっと閃いたということも含めてあれば、御意見をいただければと思っていますがいかがでしょうか。先ほど私が言った中で、イメージの共有ということがありましたけれど、最初の懇話会で中尾社清一郎委員から、このエリアが一番格調高かったのは昭和 10 年くらいだったと話されていたと記憶しておりますが、その辺りについて何かありますでしょうか。

#### ●中尾清一郎委員

前回申し上げたのは佐賀と同じような成り立ちというか、近世の歴史を歩んだ萩と松江が城下町の佇まいをととてもよく残しているのに対して、佐賀は開発が進んでしまって、これ以上の町並みの扱いは、歴史景観の損失を避けたいという話をさせていただいたと思います。市役所の皆さんの前で大変恐縮ですが、今の場所にバルーンミュージアムをつくったのは本当に残念だったなど、造ってしまったものはしょうがないですが、これから松原公園整備に向けて、やはり歴史と風格を感じさせられるまちづくり、場合によっては不動産価格の向上、維持向上につながっていくと思います。もし可能であるならば、公園整備にあたって、松原の地名の由来になった松原の土塁、長崎街道から佐賀城の正面を隠す機

能もあったと思いますけれど、松原1丁目から4丁目までありますけど、どこが松原なのかということは皆疑問に思うわけで、土塁の一部を想像も含めて、復元できないか。その場所としては、場所は少し違いますけれど、市役所の跡地でもある ARKS の一角に、そういうスペースも考えられるのではないかと思います。

松原公園の懇話会のエリアが狭いので、せっかく資料3-1にある全体像の図があるので、やはり南北の軸線を意識していただきたいと思います。私が注目したいのは万部島周辺。これだけユニークな、周囲を水面で囲まれ、埋め立てられもせずに残っているのですが、佐嘉神社の駐車場と万部島の間には水面の上に張り出している家、戦後の混乱時に建てられた家などが今も残っているので、それがもしきれいになれば万部島の辺りはとても良い歴史風致を残していると思う。万部島の整備を考えたら、今度は松原地区から万部島、佐賀城本丸歴史館の縦の軸線がきれいに立ち上がるという感じがして、それがいずれは、佐賀城の南へ広がっていくのではないか。佐賀城の南には枝吉神陽と副島種臣の生誕地があって、観願荘も近くにあったのですか。

#### ●中尾友香梨委員

観願荘は佐賀大学と城内、お濠の間です。

#### ●中尾清一郎委員

回遊性を考えると、松原エリアから拡がった話になってしまいましたけれど、そこまでいずれは意識していただくといいかなと。

#### ●牛島座長

中尾清一郎委員の方からの意見もありましたが、松原から南へ佐嘉神社の外苑駐車場を通っていくということで、前回、前々回と佐野委員から神社の成り立ちとその意義ということもお話いただいたのですが、そういったことから今意見を聞いて発言があればお願いします。

#### ●佐野委員

今、中尾清一郎委員がおっしゃられた万部島というのが、私もすごく勿体ないと感じておりまして、これだけのものがあるのに一体市民でどれだけ万部島のことを知っている人がいるのかと思いますし、これをもう少し出していくためにはこのエリアだけで一つを考えてしまうのではなく、そこに繋がっていくような形でここに何が必要かということをよく見ていかなければいけないのかと思います。外苑駐車場を持っていますが、佐嘉神社も敷地として何か必要があるならばある程度活用することも考えてもいいと思っております。たくさんこういうものを造ったら、ああいうものを造ったらと出させていただいておりますけれども、歴史を引き継ぐという意味では佐嘉神社、松原神社、徴古館がこれだと思う。それを核にして公園として何か考えて、元々そういう話だったのではないかなと思ひまして、そのところが少し薄らいでしまって、色んなものをここに寄せ集めてつくろふみたいな話になっているような気がして、そこがどうなのかと思っているところです。

#### ●牛島座長

ありがとうございます。過去2回の懇話会の中でこのエリアの話、そして松原公園ということで絞って、具体的にイメージをしていく中で全体としての理想的な、こうあったらいいなというものを作ろうということだったと私は承知しています。表現の仕方も色々あると思っていますけれど、意見の中で私が記憶しているのは、歴史を大切にするということが今回のこのエリアの特徴であるとしっかりと皆さんの中にあつたと共に、それに過度にということだと思いますが、こだわらないっていうものが色々なイメージを膨らませることになるのではないかと承知をしているところです。そういった意味では色々な意見を言ってもらったほうが良いかなと感じております。

### ●實松委員

先ほど発言しましたように、個人的なアイデアということでお話をさせていただきたいと思います。今日拝見しましてまず黄色のゾーンですけれども、仲見世的なものがあるっていいのではないかという話があり思いましたのが、佐賀城下百年構想がございまして、その時に今の佐賀城本丸から北に上っていく総合庁舎のすぐ東に狭い道があるけれど、あの辺りに仲見世的なものをつくるっていうのがその構想の中にあつたかと思います。現実的にそこになかなか仲見世的なものをつくるというのは正直厳しいかなと考えた時に、今この黄色のところの仲見世的なものをつくるという案は悪くはないのではないかと私は正直思ったところです。よく佐賀城本丸にいらっしゃったお客さんも、買い物が出来るところはないかという話をよく聞きます。そういう意味で行くと、ここに多くの人においでいただく、県民にかかわらず県外からおいでいただくと考えた時に、何か買物が出来るような仲見世的なものがあればいいんじゃないかというのは一つ思いました。このアイデアを私的には面白いなと思っております。

それから歴史・文化ということで赤いゾーンがありますけれども、ここは県の土地もありますけれども鍋島家から県立図書館ということで建物も含めてご寄贈いただいたものになっていまして、今、活用を明確に何かするということがないので駐車場になっているけれど、私はこの土地を歴史・文化上というのであれば、例えば、公文書館的な機能をここに持ってきて徴古館と連携させた形で、佐賀の歴史をここに来たら知れる・学べるという空間にしたらどうかと思っています。佐賀県を考えたときに、なかなか歴史的なものを学べる場所ってどこだろうかと考えたときに、なかなか無いなど。今は佐賀城本丸歴史館がありますけれどもなかなかまとまって学べる場所はない。そして元々、鍋島家からご寄附をいただいた土地であるという経緯を考えますと、ここに徴古館と連携した形で公文書館的な機能を持ってくれば、多くの人に鍋島直正公はじめ七賢人等々を学んでいただける場になるのではないかという気がしまして、そういうような何か佐賀を象徴する空間にするというのであれば、わくわくしていただける空間になるのではないかと思っています。ただそういう空間だけだと、なかなか若い人も集まってくるというのは難しいので、水辺の空間に、ちょっと今テラス席みたいな㊟の写真のような休憩が出来るスペースがあるというのは非常にいいと思っております、県のほうで ARKS を整備したのでそれとの兼ね合い

もあるけれども、水辺空間でちょっと休憩をできるスペースがあるというのは悪くないのではと思っています。

今回この赤いエリア・青いエリア・黄色のエリアを示されて提案されたのは恐らくこれまでの色んな経緯を踏まえて提案されたと思うけれども、私はこの空間を魅力的なものとするというアイデアとしては良い案が出来るのではないかと考えています。

#### ●牛島座長

ありがとうございます。先ほど佐野委員さんから話がありましたが、この松原の土地の経緯・由来そして佐嘉神社、徴古館、弘道館跡といった部分というのは時間を重ねて今日に至っているということと、あと前回の御意見の中で印象に残ったのが、佐野委員が言われていたこの場所、佐嘉神社は昭和天皇からのご命だった。別格官幣社というのは全国で最初からあるのは2か所で、福井県では燃えてしまって佐賀県は残っているという、その価値というのがなかなか知られていないということで、これが市民からの強い願いでここにきたということなので、市民が求める場所、市民が大切にしているこの松原というところは忘れてはならないという気は私もしています。ということで、その歴史的な分野とかその辺りに関連しまして、何かございますか。

#### ●佐野委員

今の水辺の話が出たけれども、佐嘉神社の御本殿の裏側、松原川が通っていますけれど松原川沿いの道があります。そこから見ると、神社の御本殿の裏側は木が鬱蒼と茂っている。佐嘉神社の駐車場の北出口から松原神社を超えたところの太鼓橋の間のところが大変鬱蒼としておりますし、神社の裏側うちの話で大変恥ずかしいけれどすごく荒れている。自分たちが悪いけれど、色んな廃材とか持っていく場所がなくてそこに積んでいる状態で、裏から見ると裏の道を通っていただければ分かるけれど、心霊スポットのような感じでみっともない。片付けをして、綺麗にするように努力はしているのですが。それに合わせて、松原川の御本殿の裏側の護岸から神社側に2mの間隔は無償で市にお貸ししている状態。北側の駐車場出口から太鼓橋の間の2mは市に管理していただいている状態。ですから、駐車場の出口のところには、市が作られた水舞台がありますけれど、そこから人が入ってくるという危険性があったので石垣を造っていただいているけれど、今2mお貸ししているところを神社としてもし支障がなければ、さらに市に1mお借りいただいて勿論無償で、その間を緑の遊歩道のような活用をされたらどうかと。神社の北側を歩いている方々にとっても、神社自体もきれいなところとさせていただけるし、このまち全体が高級な雰囲気になるのではないかなと思っています。勿論神社側の中の色々な汚いところは自分たちで掃除しようと、片づけをしていく予定ですが、この1年頑張っているけれどほとんど何も変わっていない状態で、これから頑張らないといけないという話を進めているところです。そういうところももし何か考えていただければ、構想からは少し外れはするけれどそうすると松原神社境内とか新馬場通りに繋がっていく道になってくるのではないかなと考えています。宗教法人の土地ですので、神社がこれをしたい、あれがし

たいと言っても出来ない。神社本庁というところから許可が下りないと、宗教法人の土地はいくら我々佐嘉神社の代表者が「こうします」と言っても出来ないという状態であるので、どこまで出来るのかわからないけれど、そういうことも提案してみたいなと感じております。

#### ●白井委員

私も佐賀市の職員で、實松委員と同じような立場で、公の部分と個人的な部分で懇話会に参加しているけれど、この場は自由活発に議論しましょうというもので始まっているので、私も個人的な考えでありますけれども「こう思います」ということで自由活発に発言したいと思っています。大事なことは、庁内で共有しながら市として何が出来るのかを内部で議論しながら、また次回に参加出来たらいいかなと思っています。そういう意味で、県の方でもこういう場で意見交換がありましたということも庁内で共有していただければ幸いかなと思います。そういう意味で先ほど水辺ことで市に提案を頂きました。私も⑳みたいなイメージを考えると、確かに北側の水辺空間と大分イメージが違うなど。㉑の方が良いなというのは思うところです。これを実際どう出来るのかというのは私もわからないので、アイデアとしてはすごくいいなと思いますけれど、市として何が出来るかを持ち帰って共有をしながら出来るだけそういったリアルに近づけるようなことはしてみようと思いますので、一旦持ち帰らせてください。

資料3-2を見ながら思ったことですが、茶色の矢印で直線が入ってしまっていて、黄色のところ、前回2回目の懇話会の時だったか県の元村委員からの意見があったけれど、「徴古館と佐嘉神社の間に垣根があって行き来ができないので、行き来できたらいいのでは」と言われたのを記憶している。今日のテーマとしては、赤い内側の話でしょうけれど、茶色の横の線が赤い枠の中に1本右側に出ていますけど、黄色のところからも矢印が将来的にもあったほうが、先ほど實松委員が言われたように仲見世的なものが相互から楽しめるようなことも考えながら議論するといいのかなと思いました。徴古館と神社のお客様がそれぞれの地点に自由に行き来出来るような、これも色々防犯上のものがあるので勝手に私が個人的に言っているだけかもしれませんが、議論の中に入れて皆で考えていけばいいかなと思っています。

#### ●牛島座長

ありがとうございました。

休憩に入る前に皆さんからあればお聞きしたいと思いますので、中尾友香梨委員、何かございませんでしょうか。

#### ●中尾友香梨委員

ありがとうございます。

最初に佐賀新聞の中尾委員がおっしゃったように、ただこのエリアだけで話を詰めてしまうと、南側全体とのつながりが若干考えにくくなるかなと個人的には思っております。ここを先に詰める前に南側全体のコンセプトをしっかりと考えてから、中身を詰めて

いったほうが将来的に南側全体を整備する上で、統一感が出るのではないかなというふうに考えております。ここだけ先にしっかり詰めてしまうと、先ほど佐野宮司さんもおっしゃったように、万部島とかさらに南側にある本丸歴史館との繋がりとかそういう統一感がちょっと欠けてきそうなそういう不安を若干覚えました。せっかく整備するのであれば、やはり他の町、他の県にはない何か欲しいなというところですか。今日お示しいただいたたたき台は非常に魅力的ですけれども、具体的なコンセプトが何になるのだろうというのが少し疑問に感じているというところですか。まち全体のコンセプトが一つ欲しいなというふうに思っております。その中でこのエリアはそのコンセプトの中の全体の何に当たるのか、そういうふうに考えていたほうが良いのではないかなというふうに思っております。もう一つは今のお話とつながるけれども、ここが貴重な場所というのは皆が共感しているところだと思います。これはもう疑う余地のないところなのですが、貴重というだけでは、今の時代若干弱いような気がして、やはりプラス面白いというのが一つあってこそ、人が集まってくるのではないかなというふうに思っております。だから他の町にあるものをここでコピーをしてもあまり魅力的に映らないと思いますので、他の町にはない何か個性的なものをつくるということをもう少し具体的に考えていく必要があるかと思っております。水辺のことは先ほど皆さんもおっしゃったとおりで、今日も裏を通ってきたのですが、やはり木々が茂っていて緑はすごく良いのですが、やはり夜になると、少し怖そうな感じがしましたので、そこを明るくするというのは非常にいいアイデアだと思います。ただちょっと気にしているのは⑳の写真、これはかなり大きい川ですね。松原神社の裏にあるのはここまで大きくないので、これをイメージしつつ、もう少しアレンジする必要があるかというふうに思います。取りあえず今思っているところは以上です。長々と申し訳ございませんでした。

●牛島座長

南側というのは、資料 3-1 で示された松原エリアから南のことですか。

●中尾友香梨委員

幹線道路から南側ということですか。

●牛島座長

幹線道路から南ということですね。少し整理をする必要があると思っておりますが、それを意識しながら松原公園の具体的な形をどう考えるかというところのポイントを明確にすることが必要ではないかということでしょうか。重松委員の方から何かございますか。

●重松委員

シアターシエマの重松です。仲見世のお店が色々ある写真、㉑や㉒の写真があるけれどこれを赤の枠に入れ込んでしまうよりは、例えば新馬場通りがそういった機能を持っているのではないかとかと思う。シアターシエマとかでここから少し外れるけれど、北に上がった通りにもそういった機能を持つことが出来ると思うし、ARKS に繋がる駅からの

道も多分、そういった機能を持つことが出来ると思う。そう考えた時に、例えば佐賀駅で降りた方がどういう道を歩いてこの場所、佐嘉神社、徴古館のある松原公園に来るのかという導線のところから考えないと、この敷地内に、これを作ったからこういう人が来るというよりは、佐嘉神社の駐車場、外苑駐車場に車を停めた方がどういうルートで来るのか、新馬場通りに仲見世をつくった時には、どこからどこに車を停めた人がどこから歩いてくるのか、そういった人の流れを整理したほうが、どこに何をつくるべきかが見えてくるのではと思いました。水辺の話は、常に川は流れていて私もすごく好きですけど、昼間は人が歩いているというイメージがあるので、そこを整備するのはすごく良いアイデアだと思います。そこの道から先に、人がどういうふうどういう目的を持つ人がどういうふう歩くのかというのを一度整理してから、この場所にどういう目的のものをつくるべきなのかというのを見たほうが、的外れのもの出来ないのかなと思ったところです。

#### ●牛島座長

ありがとうございました。何かあればご自由をお願いします。

#### ●甲斐委員

重松委員がおっしゃったように人の流れを考えることは大事なことだなと思いました。パーツパーツとして水辺は素敵だと思いますし、佐嘉神社をお参りした後にどちらに向かって人が回遊していくイメージを持つといいのかなと思った時に、色々こんなものがあるといいのでは、機能があるといいのではという話も差し上げているところですけど、エリア全体をプロデュースするみたいな、プロの方、クリエイターの方にパーツはこんなものがあつたらいいなという話をして、コンセプトもこういったコンセプトでと言って、デザインとかクリエイト出来るような方を入れるというのが一つあるのかなということ、佐賀県は結構デザインの視点というのを入れて、そういう方を入れておりますので、私たちの想いを全部出して、そこをそのまま実現するとごちゃごちゃになって流れが悪くなるかもしれないので、勝手なことですけど、そういったことも入れていくと、示していただいたものにまた意見を申し上げるとかでも良いのではないかなと思いました。

#### ●牛島座長

ありがとうございました。少し整理というか確認したいと思っております。今回俯瞰的に見るために3-1を用意していただいて、3-2で今皆さんに議論いただく対象を赤枠で囲んだところを具体的に考えましょうというイメージとして、例えばこういったものがあればということで3-3の方で、こういったものが他であるので皆さんとしてはどう考えますかというのを出していただけるようにしたところです。

先ほどから出ています松原エリアから南の話については、確か佐賀県の佐賀城下再生百年構想があり、サンライズパークの開発も含めて北側の方にどちらかというスポーツ・エンターテイメントという感じの性格のもの、南の方は歴史・文化といったところになりますので、その辺りは一つのベースとなるのではないかなと思います。その辺りの位置づけ

と私は受け止めているところであります。

それと先ほど佐野委員さんから出ていました、北側の水、松原川も含めたところの水については全体としてのエリアを、どうあったら良いかという理想を皆さんでイメージを持ってもらうことは必要なことでもありますし、人の動き・流れといった観点から今回の対象エリアに人が向きやすくなる、中尾委員から御意見をいただいた時は、回遊性と北から人が入りやすい、貫通道路と北側を上手く繋いで人が集まってくるような意識も必要とのことでしたが、その点からみると、佐野委員がおっしゃっているところが今回の対象と外れてはいますけれど、その要素も必要だと感じます。やはりきれいなところに人は集まりやすい、より人が行きやすいといったこともあるのかなと思いました。同時に、どうしても少し広く全体を見ることも必要で、南北軸という話も前回出ていますので、それを意識しつつまた連携するところも含めて、この4回目、5回目で一つのまとめを意識した時に、この松原公園の赤枠内での具体的にこんなふうにということを少し意識する必要があると思いました。

私の方から問題提起ではないですけど、どうしても松原、今繋がる佐嘉神社、徴古館ということでそれは共に鍋島閑叟公、鍋島家との縁があるということなので、ここをどのように大切にしつつ、次に繋いでいくかといったところは恐らく外せないと考えています。中尾先生も言われたように他にない何かと言った時に、この場所の今までの経緯というところもしっかりと押さえつつ考えていく必要があるかなと。個人的意見、座長でありながらあまり意見を言うわけにはいけないかなと思っていますが、ポイントは人ではないかなと。弘道館の碑がそこにあるけれど、それも実は言われたら分かると思うけども、弘道館は8代の藩主がつくられたと。10代の直正公がこの場所に移されたということで人育てのエリアであるということでは間違いのない事実であり昔も今もこれからも、人があってこの場所であり、人が繋いできたこの場所であるということ。閑叟公を祀られている佐嘉神社、徴古館の横は鍋島家の大切なものを守り伝えるということもありますので、例えば人が一つの切り口ということで、次にどのように伝えていくかという視点が言えるかなということで、人が集まるということ、人を育てるとということ、人が創造するというゾーン・スペースといったものの一つかなと感じています。

「弘道館2」は県がされていましたが、もう一区切りついたのでですか。

#### ●実松委員

まだやっています。

#### ●牛島座長

「弘道館2」というのは私もあまり知らないですが、ご存じない方もいらっしゃるのではと思うのでご紹介いただければと思うのですが、これはバーチャル空間を活用して、色々されていたと思うのですが、そういうものをリアルで出来る空間とかスペースというところでの性格づけをするのもひとつではないのかと感じたところです。いずれにしても人が集まる、アクセスする場所にする、人が色んなところにアクセスできるといったとこ

ろが必要な気がしています。

#### ●實松委員

全体を見渡してというお話がありましたので一言だけちょっと申し上げさせていただきますと、県のほうでも今、城内の整備を進めている中で回遊性を高めるということで中尾社長からもありました万部島のところは非常に気になっているエリアとなっております。

佐賀城下ひなまつりの時期に、県外の方を案内したら、最初に佐賀城本丸歴史館に行って車を停めて、そこから車に乗って移動した場所はどこかという徴古館。そしたらまた同じ人たちと会いまして、そのあと柳町に行ったら、またいらっしゃって。皆さんの動きとしては佐賀城下ひなまつりの時に、本丸に来た人はそれから徴古館に行って柳町に。柳町に先に行った人は徴古館、本丸に行くという動きがあるというのがありまして、その流れをどうにか上手く出来ないかっていうのはすごく思っています。それともう一つは城内に佐賀城本丸がありますけれども、県立美術館・博物館、それから島義勇像のところ、それと中尾社長からもありました枝吉家副島種臣の生誕地、あそこを回遊できるように。それが万部島を経由して、徴古館に行って、柳町みたいな話になると良いなというのを思ったりしております。その時に、先ほど新馬場通りに仲見世的なものがあってもいいないというの私も同感でして、ただしそこに仲見世をつくるのは簡単ではないのかなということで、今回ご提案いただいた黄色いエリアにそういう機能を一部置いてもいいのではないかというのを思った次第です。

もう一つ公文書館的な話をさせていただいた理由は、佐賀城本丸歴史館が確かにありますけれども、実は県立図書館の中に近代史の分野が入ってしまっていて、ここでも近代史の研究をしている。さらに徴古館には富田さんというすばらしい方がいらっしゃって、研究をされたり講義をされたりしているということで、少し県と鍋島報効会さんとの連携が出来ていなかったのではないかとちょっと少し反省をしております、そこをうまく連携したらもっといい形で人の回遊性がつくれるのでは思っています、県立図書館が持っている近代的な、歴史的なものもあわせて公文書館的なところに持っていくといろんなものが集約されて、本丸と徴古館に行けば佐賀の歴史がものすごく学べるみたいに。先ほどご提案いただいたそこにリアル弘道館的な機能があるとさらに若い人たちもここに集えるような空間になるのではないかと思った次第です。先ほど中尾先生から話がありました少し工夫が要るよねという話は、全くその通りだと思っております、その工夫をどうするかっていうのは、なかなか我々だけではアイデアがでないところは、先ほど甲斐委員からお話がありましたように専門家というか、少し我々と違う視点を持った方の意見も聞いてみるというのも大切ではなかつたかと思つた次第でございます。

#### ●鍋島委員

補足をさせていただきます。さっきからここをどうするかということを考える時、周りも考えたほうがいいという意見がでていますが、縦横、南北、東西の動線について鍋島報効会が関わっているところとして、松原社の参道にあたる新馬場通りの両サイドは、財団

の管理下です。これからどうなっていこうかな、どうしていこうかなということを、佐賀市さんとはもう随分前からお話をさせていただいて、道をまず掘げようじゃないかということを進めております。

それから今日たまたま中尾さんから意見が出ましたが、万部島は確かに水が流れて水に囲まれていて、佐賀の乱があった後も色々なごたごたを収めた結果、中尾さんが説明した状況になっていると思うのですが、そこまでのアクセスを神社が埋め立てたところを持っておられる。万部島は、一応県の公園という形になっているけれども、そこは財団法人のもので、これを県に借りていただいていると。その辺りまで含めて考えていただければいいかなと思う。

恐縮ですけど、子孫という立場だからか、市でも県でも文化関係の方や、本丸や博物館、ひなまつりをやって時も凶々しい奴だなと多分思っておられるのかなと思いながら、今日皆さんの様子を見させていただいて、30年悶々としていたことが、最近すーっと晴れてきているようなところがありまして、こっちは県がやるとか文化財はこうしろとか、よこせとか渡せとかっているというのがたくさんあったけども、2、3日前に富田が言ったんですけども、そうだよと僕思ったんですけども、徴古館って何だろうと考えた時に「佐嘉神社の宝物館みたいなものじゃないですか」と言うわけですよ。これについては、僕は全然違和感を感じていません。何でかという、例えば閑叟公という方で、時代をそこで切ったとすると、住んでいたお城がそこにある。仕事場が本丸で。その向こうに自分のオフィスがあって、亡くなったらそこへ（神社へ）祀られて、その横に関連の史料館がある。僕はナチュラルに言うけど、逆に今まで過去30年間、特にバブルの頃は地元の方がそれをそういうふうに見てなかった。これはこっち、あれはあっち、図書館は図書館、よく分からないけれど、歴史の切り売りみたいになってしまう。それがやっとならなくて見られるようになってきたな、良いこと、有難いことだな。まさに富田が言っていた通りで、現役の頃のお城があっちにあって、でもそれは県の施設。僕らのほうから見たら、県も市もへったくれもないっていう視線は逆に言ったら観光とかよそから来られる方の視線もそうだと思う。ひなまつりの時に何か実行委員会の中でも色々悶々としたとしても、訪れた方に見てみたら1個の佐賀県だと思う。同じ視線でこうやって皆さんと色々アイデアを出しただけの場が出来ているということ自体すごく大事なことだと思うし、似たようなことを現場の方にも前に申し上げたことがあるんですけども、どうせつぺんなんで、選挙一つでどうなるか分からないから、現場しっかり固めろよと、今のうちにと。地域もやっぱり地域に住んでいる我々が現場なわけだから、しっかり固めろよと。そこへ皆さんから良いアイデアを出していただいて、何か一体感が出ると楽しいというのが、正直なところでごさいまして、どうしたいこうしたいは無いですけども、「鍋島」という切り口に関しては、そういう動線なのかな。お城がある、亡くなってからも神社がある。その前の方々の神社もある。務めていたお侍さんの武家屋敷がちょっと残っている。そういう動線がある。他にも掘り出せばいっぱいあると思うけれども、どこぐらいをピンポイント

しようかという洗い出しをこれから為されるといいんじゃないかなと思うし、徴古館なんかもそういう中でお役に立てれば残した甲斐が出るのではないかなと思っています。

●牛島座長

一旦休憩に入りたいと思います。

—休憩—

●牛島座長

休憩を挟みまして何か御意見のある方は是非ともいただきたいと思っていますがいかがでしょうか。

●鍋島委員

ものすごく話が小さい話ですけど、仲見世みたいなもの、前回の時に太宰府の梅ヶ枝餅がうらやましいという話をした記憶があるけれど、仲見世という言葉の意味をよく知らないですが、同様のものって、大体神社の参道に対して沿ってあるものなのか、必ずしもそうではないのか。今神社から南へは鳥居あるけど道路があるから参道は行かないわけですよ。西へ（徴古館の方へ）は鳥居があって、私もいつもそこをとお参りをさせていただいているけれど、駐車場部分は駐車場ということで、ここは垣根があって分かれていたりする。いわゆる神社に対するアクセスというのは基本的には変えようもない、東西南北で出来上がっていますから、北参道が無いわけですよ。北側がきれいになればいいな、川もあるし、河童も可愛らしいし、夜も楽しく歩けたらいいなみたいな。今、夜歩くと植栽の木の枝にぶつかるのもうちょっとゆったり歩けたらいいなと思うけど、お店とか賑わいの的なものが実現可能かどうかわからないけれども、それと神社に対するアクセスとの関係ってどうなっているものなのでしょうね。

●牛島座長

神社へのアクセスという話があって、多分それは門前町ではないですけども、そこまで行く過程でどちらかという自然発生的にそれぞれ形づくられてきたというものではないかなと思っていますがいかがでしょう。

●佐野委員

佐嘉神社の場合は特殊と言いますか、目の前に貫通道路が通っていますので、新馬場通りが本来は門前町ということになるのかと思います。伊勢神宮にお参りした時、神宮さんをお参りする時と同じくらいに横の「おかげ横丁」に遊びに行くのが楽しみであったりする。そういうものが仲見世というものになるのかと思います。

●鍋島委員

多分出来上がった年代が似ているからかもしれないですが、明治神宮と似ている。全どっちも大体 100 年ですよ。明治神宮は 100 年を迎えたところ。佐嘉神社が今迎えようとしているところ。確かに明治神宮もややこしいですね。何であんなにくねくね角を曲がっ

て到達するのかわからないし、入口がたくさんあって裏からも入れるし。時代的に言い方は極端ですけど、後から無理やりつくった感があるかな。

### ●牛島座長

ありがとうございます。恐らくは年に一度は佐嘉神社にお参りという人が多くいるわけですので、その辺のところも心はそこにある。ただ年に一度ということだから、これが普段からあの場所は特別なところ。前回もその前も、「抛り所」とか「思い出の場所」というところにもなってくればと思います。

先ほど色々なお話を伺ったけれど、何かあれば言っていたきたいと思いますが、このところで具体的に踏み込んで、こんな感じとか、こんなものだとか、他所のこれは良いと思ったとか、そういうことでも何でも結構ですでお話ししてもらえればと思っています。

松原エリアに対しての受け止め、感じ方というのは1回、2回、今日も含めて大体皆さん変わらないというか、ほぼ共通しているということでもいいでしょうか。歴史・文化的なところ、閑叟公・鍋島家という部分での、どちらかという先ほど實松さんが歴史を感じるということ、このあたりは確か白井委員さんもお話になったのではと思いますけれど、それが一つの個性であり前提であるといったのは変わらないかなと。中尾先生が言われていた歴史と現実、実際それが調和しながら回っている、若い人も含めて人が集まるような形ということで、前回お話になったような大名庭園を落とし込むというか、そういう意味合いだろうと。どうしてもスペース的に限られていますし、今回はさらに小さいと思います。その辺りよかったらどうでしょうか。

### ●中尾友香梨委員

最初から私はこのエリア全体、最初私にちょっと誤解があったかもしれませんがもっと広くとらえておりました。新馬場通りまで入れて、この周辺地域全体を一つの大名庭園の形で整理していけば、他のまちにはない個性的なまちづくりが出来るのではないかなと考えて、提案させていただいたところです。せっかく佐賀城下に観願荘という立派な大名庭園がありましたし、それが今は跡形もなく消えてしまって完全に住宅街になってしまったので、一部でもいいからそれを再現すれば、他の県ではまちの中に大名庭園があるというのを聞いたことがありませんので、個性的なまちづくりになるのではないかなというふうに考えたところです。今回は狭いエリアの中での整備の話になっておりますので、このエリアだけで大名庭園をつくるのは確かに難しいかと思います。ですが、ちょっと発想を変えて先ほど申し上げましたように、新馬場道り（仲見世、参道）まで含めて、全体を一つの大名庭園に見立てて、商業的なエリア、そして観光的なエリアとか、そういうふうにパーツパーツで考えながら組み合わせれば、全体で見たときに一つの大名庭園として見たてることも可能ではあるのではないかなというふうに、今も私は個人的に思っております。結局、他の県、他の市にもあるようなまちづくりになってしまうとやっぱりちょっと弱くなりそうな懸念が私個人的にはまだあります。他の県に無いもの言った時に、大名庭

園というのが一つ大きいキーワードになるのではないかなというふうに思ったところで  
す。

●牛島座長

ありがとうございました。今の話でも結構ですし、他でも構いません。何かあれば。

●白井委員

エリア的にも狭いというのは確かにある。資料 3-3 みたいに全部落とし込もうと思えば、まず難しいかなと。

●事務局

先ほどから狭いエリアでのお話ということが議論になっておりますけれど、この赤の実線のところが松原公園の第 1 期整備した時に、元々この赤の実線のところを公園区域として整備すればいいのではないかということでの始まりだったかと思います。平成 24 年度の開設の際には赤の点線のところで開設をしたわけですが、市として今計画としてあるのが、赤の実線区域を松原公園の全体区域としてはどうかということでの提案を今のところさせていただいております。ただ懇話会の中では、当然もっと広い茶色の区域、新馬場通りも含めて、ここの将来像は長期的に考えて将来像を決めていきたいというふうに決めまして懇話会を開催させていただいておりますので、当然最終的にはこの茶色の区域の将来像を南のエリアまで含めた形で全体を考えたいという茶色のエリアを中期的・長期的に考えていきたいと思っております。この赤の実線のところは平成 24 年の際に将来的に整備まだ色んな課題がございますけれども、その中でここを最終的に公園区域として開設出来ればということで決めた区域となっておりますのでもっと懇話会では広い視野で議論させていただいて良いかと思っております。

●白井委員

ということで、資料 3-1 で色々御意見があった南の方の城内エリアを含めたこのエリアにおける松原の位置づけ。その松原地区の位置づけの中にある茶色の部分、仲見世を含めたイメージ。実際に可能性として取り組みが出来るであろう赤い直線の中のイメージ。それぞれイメージの規模が違います。それぞれを俯瞰しながら大きくまとめていって、それが第 4 回目のところでの議論になっていくだろうと思うけれど、そんなふうにこの話が進んでいけばエリアのイメージとか共感できるようなものになっていくのかなと期待している。

●鍋島委員

考え方として区画割りをしてその中で何をするかという作業の必要は当然あって、その区画、時系列的な区画を前提に、今そこに何がはめ込めるかみたいな形でものを考えようとしていると思って、当然そういう方法になるかと思うけれども、今日頭のところで佐野宮司がおっしゃっていたこと、中尾先生が毎回必ずお出しになる庭園のお話を組み合わせて考えた時に、庭園をつくる時も色々あると思うんでしょうけれども、どうしても動かせない岩、どうしても動かせない池、そこで水が湧いているからしょうがないだろうみた

いな、もちろんそういうものを活かしながらという発想もあると思うんだけど、例えば茶色い桮全部、北にある河童の川まで含めてこれが全部佐嘉神社だったら、というイメージで物をとらえて、その佐嘉神社エリアを佐嘉神社がどこかの庭園業者を雇って、徴古館は壊さないでください、佐嘉神社のこれとこれも壊さないでください、周りを一体感を持ってどうアレンジしてどういう方法があるかなっていう、そういう考え方をして、その上でここなんかちょっと足りないよねとか、ここ何か埋めたいよね。そういう考え方をすると当たっては、佐賀県さんの協力もあれば徴古館の周りをぐるっと発想できるわけです。徴古館と神社の間も発想できるし、そういう考え方も一つして、ここはどうやって一体感を持ってつなげて一体のエリアにするのかという、動かさないパーツ、既にあるパーツ、それをつなげる動線、それをまたその外へつながっていく動線というもので一つ見て、そうするとちょっとこの辺寂しいよねとか、ここにこういうものがあつたらいいよねというのは逆に出てくるんじゃないかなと思いつながら今お話を聞いていました。この前誰かに申し上げたけれども、このエリア全体で最終的に駐車場ってどのくらい必要なんだろう。バルーンの裏にも駐車場がある、将来的にはどうなるかわからない駐車場ですけども、郵便局の裏も今駐車場がある、徴古館も神社も駐車場がある。特に神社は、駐車場はたくさん要るだろうし、お濠の南側もあるけれども道を渡るのも大変ですよ。ただ最終的には駐車場って要るけど、どのくらい整備されるべきなのかという合理性も一緒になって考えていくとある程度大まかなところは埋まってくるのかなという気がしてお話を承っていました。

#### ●牛島座長

話を伺ってきて最初に事務局が説明しました資料の中にあります、大切にすることは佐賀の歴史・文化を感じる場所、心の拠り所、アイデンティティーの確立といったところも含めて、皆さんの感じることはほぼ同じかなと感じます。今日の話の中で、資料3-3で事務局が用意してくれた4つのポイント、「賑わいの創出」、「緑の整備」、「水辺を活かした整備」、「歴史を引き継ぐ」というところで、緑の整備ということに関しての意見がほぼ無いに近い。なぜかと言うと、重視しているところが歴史を引き継ぐ、水辺を活かした、賑わいというところに大分絞られてきたような印象があります。今、鍋島委員さんが言われたようなことも含めて、このところを考えていく必要があるのかなと思いました。最後に言われた駐車場問題、アクセスをどうすればいいか、人が集まりやすくするために必要な駐車場ということだと思いますけれど、駐車場も他の手段があれば要らないのかなとも思いますし、この空間利用のより高いものとか、斬新なものも出来ているということですので、周辺も含めて考えていくことが出来る。そうすると徴古館と佐嘉神社、全体的に捉えて公園整備というのがイメージとして提示できるような気がしました。何か皆さんそう言ったことに関連して御意見ありますでしょうか。

#### ●中尾友香梨委員

度々すみません。私は今、鍋島理事長のお話を伺ってはっとさせられました。ずっとこ

これを松原公園というふうに考えてとらえてきたので、狭くパーツパーツでどうしても分けて考えようとしたんですけれども、このエリア全体茶色の線で囲まれているこのエリア全体を、佐嘉神社庭園もしくは松原神社庭園というふうに捉えたほうが一体感が出て整備もしやすく、訪れる人がこれは何のエリアなのかっていうのが、わかりやすくなるんじゃないかなと思います。駐車場も全く私も同感で、毎回来るたびにこれも駐車場あれも駐車場といつも思う。南側に駐車場があるので佐野宮司には申し訳ないですが、神社を訪れる人には若干不便になるかもしれませんけれども、このエリアはやっぱり庭園に徹して、ここには駐車場は置かない、置くにしても少し減らしてもよいのではないかなというふうに個人的には勝手に想像しているところです。そのほうが、やはりここは庭園という感が強くなっていくかなというふうに思ったところです。以上です。

#### ●牛島座長

ありがとうございます。一体としてというふうなこと、駐車場のところについての御意見だったと思いますが、駐車場ということ言えば県が、「歩く」・「まちを人が楽しむ」ということで取り組みをやっていると思いますが、そういったところも含めて佐野宮司さん御意見いただければと思います。

#### ●甲斐委員

お話がありました「歩く」についてですが、県は歩く施策を進めてきております。佐賀県民は割と車を利用してドア to ドアで、ちょっと土地が空くと駐車場。何かをつくるんだったらここに駐車場といったことが今まで多く語られていたけれど、中尾委員さんがおっしゃったようにちょっと歩こうよと、佐賀県は糖尿病と糖尿病予備軍がワーストに近いところにおりまして、やっぱり歩くということが1番健康に繋がるし、高齢者になった時に寝たきりにならない一番良い確実な方法であるというふうに思います。もちろんお体の不自由な方もいらっしゃいますので、そういった方々は近くまで車で寄せられるようにすること大事ですけれども、歩ける人は必ずしもすぐ横に、すぐ隣に駐車場がなくても南側にありますし、民間駐車場もまちなかにいっぱいございますので、駐車場ってわざわざ全体を整備する時にしっかり台数確保っていうことは考えではなく、周りを利用しながらという考えがあっていいのかなと思います。できるだけ交通機関、バス、タクシーを使ってお寄りいただくという考えも大事なのかなというふうに思っております。

#### ●牛島座長

ありがとうございます。歩くスタイルというのと、まちづくりを含めたくらしのデザインといったところを佐賀県が取り組みだしていると思いますし、健康については甲斐委員が詳しいと思いますので非常にわかりやすくて良かったと思います。

#### ●佐野委員

うちの話になって申し訳ないですけど、駐車場を南にも十分にあるのでということで考えますと、今一番問題に思っているのが歩道橋。信号を渡りなさいと言うと、松原神社のほう、もしくは郵便局のほうまで歩かなければいけない。歩道橋をお年寄りの方、体の不

自由な方が渡れますかという難しい話で、何とかならないかと申し上げているけれど去年きれいに歩道橋の整備が終わりました。色々難しいことがあるかと思うのですが、そういうところで大きく一体的に見るのであったら、申し訳ないけれど歩道橋についても色々考えていただければというところですよ。

今までのお話で繋がるかと思うのですが、最近思うのが佐嘉神社というのがあるので、市や県がもっと皆さんに利用してほしいなど。利用するというのは、上手く使う、材料として素材としてもっと神社をもっと使えるのでは。せっかくこのまちなかにあるし、宗教法人があるので色々制限はあるでしょうし、私たちもそこまでは出来ませんよという話はいっぱいあるとは思いますが、どんどん何でも使ってくださいよというスタンスで私らもおりますので、そういうことも含めて今言われていたように一体として考えて、それに神社としてはこういうところを都合つけてくれないか？というような話し合いも出来れば、良いものが出来るのではと思います。

### ●牛島座長

ありがとうございました。今日の話の中で、中尾委員さんが言われた万部島の話から万部島が鍋島報効会の関係であるということも含めて、全体で考えてというのが出てきたと思います。中尾先生から言われた話を伺って、一体でというのが一つのキーワードになってきたのかなと感じました。話の中で印象に残ったことは一体でということ、連携、繋がるといったところで、今日の皆さんの意見からそれぞれがまさに一体で繋がって、連携してこのエリアの具体的な形を整えていきたいと思いますということでしたけども、お聞きになって鍋島委員さん何かありますか。

### ●鍋島委員

私がどうしたいとか、ああしたいとか、小林課長も非常に気にしてくださったんですけど、元々私にどうしたいこうしたいと無いので、地主さんと呼ぶのはやめて徴古館なり何なり、地域の役に立つように皆さんとお考えをいただければ誠にありがたいと。どうなったらいいな、こうなったらいいな、素敵なものがあったらいいなと思うんですけど、元々それを解決するということが、なかなか財団だけでは難しい。そういうことを地域の問題として考えてくだされるような状況をつくっていただけるということは非常にありがたいことだと思いますし、自分の苗字が鍋島なので、その鍋島っていうキーワードを使って地域が云々っていう話になって加わっていくのはやりにくいですが、しょうがない、なかなかちょっと近世の歴史を見ると外せないアイテムでもあるかなと。そういう意味ではさっき申し上げたように一つの歴史ですから、一貫性と一体感を持って地域でこれらのことが扱われて活用されていくということが、佐野さん流に言えば先祖の供養になるのではないかなというふうに個人的には感じていますし、そうやって、今お盆が終わった時期でございますけれども、そうやって地域の皆さんに誇りに思ってもらえるということが何より。これはもう鍋島に限ったことではないと思いますし。そういう意味でも、奪い合い、取り合いになることなく一体感を持ってというのは、今いい雰囲気ですけれども、な

かなか継続っていうのは難しい。やぶさかこれちょっとうまくいったりすると、また難しいことだと思うんですけれども、何かそれよりも一步向こうにある価値観みたいなものをしっかりと皆さんの力を地域にしっかりと落とし込んでいただいて、次の時代以降続けて手渡していけばありがたいかと、財団みたいなどころからは思っておりますし、最後本当に贅沢を言えば、さっき實松委員がお帰りになる前に下で話したけれども、佐賀先進的だったんですね、特に明治維新。県のほうは維新博なんかもおやりになりましたけれども古き良きだけではなく、古き良きの中にある精神みたいなもの、志みたいなものということで、維新博「佐賀も自信つけろよ」という感じで山口知事がやられたと思うけれど、そういう部分に精神的な部分とか心の部分というのもやっぱり一緒にあっていいのかなと。このエリアはどちらかっていうとそういう部分なのかな。佐野宮司も宗教法人ということで非常に気にされますけれども、世の中見て回ったら、伊勢神宮なんて観光施設だと思っている人は多くいるわけだし、そんなに心配することはないと思いますし、その神様は誰なんだと言ったらこの間まで殿様をやっていた人ですから、そういう意味でも、その一連の中に一体感として自然にあるということが多分一番大事なんじゃないかなと今日はお話を聞いていて感じましたので、どうぞこの後もまた引き続きよろしく申し上げます。私がよろしく申し上げますという立場じゃないですけど、ぜひともよろしく願い申し上げます。

#### ●牛島座長

ありがとうございました。ぜひとも今言っておきたいということがあればいかがでしょうか。無いようですね。そろそろお時間も過ぎておりますので、意見交換については終了したいと思います。委員の皆さんご協力ありがとうございました。進行を事務局にお返しします。

#### ●事務局

牛島座長ありがとうございました。今回いただいた御意見、それから宿題をいただきましたけれども、その点について事務局のほうで調査整理等を行いたいと思います。次回の会議につきましては、改めて日程調整をさせていただきます。それでは本日の懇話会はこれで終了させていただきます。長時間にわたりありがとうございました。